

### ■概要

#### 1. グローバルな視点でのオープンイノベーションの促進と国際展開を図り、国際競争力強化に貢献

経済・社会のグローバル化に伴い、情報通信技術の研究開発とその成果展開という観点においても、これまで以上に国際戦略が重要視されてきている。

グローバル推進部門では、NICTの研究開発活動における国際連携、研究開発成果の国際的展開を推進し、グローバルな視点でのオープンイノベーションの促進を通じて、我が国の情報通信技術分野における国際競争力の強化に貢献している。

#### 2. グローバル推進部門の構成

当部門の業務は、次の2室及び海外の3連携センターにより実施しており、その業務概要は以下のとおり。

##### (1) 国際連携推進室

外国為替及び外国貿易法（外為法）に基づく安全保障輸出管理業務、インターンシップ研修員受入等人材交流、海外連携センターを通じた海外のICT分野の研究開発動向や世界的な技術トレンド、ICT政策等についての調査・情報収集

##### (2) 国際研究連携展開室

NICTと諸外国の関連研究機関との国際共同研究・研究協力の推進、研究協力覚書（MOU）の締結、複数の研究所等が関わるワークショップ及び国際会議の主催あるいは共催、NICTの研究開発成果の国際展開、グローバルな視点でのオープンイノベーションを目指す国際共同研究プロジェクトの創出

##### (3) 海外連携センター（アジア連携センター、北米連携センター、欧州連携センター）

各地域における研究開発等に係る情報の収集、研究連携のための企画、推進、支援及び関係機関との連絡調整

### ■主な記事

#### 1. 国際的な研究協力の推進

ドイツ人工知能研究所、フラウンホーファー・ハインリヒ・ヘルツ研究所、カールスルーエ工科大学（ドイツ）、ホーチミン市情報通信部（ベトナム）等12の国や地域及び国際的な団体の20機関等と21件のMOUを締結

し、国際研究連携を推進するとともに、NICTの研究成果の国際展開に積極的に取り組んだ。

#### 2. 東南アジアとの連携推進と国際共同研究プロジェクトの開始

ASEAN域内の研究機関・大学等と共同で平成27年2月に設立したバーチャルな研究連携組織「ASEAN IVO (ICT Virtual Organization of ASEAN Institutes and NICT)」をASEAN全10か国30機関の体制に拡大するとともに、昨年から実施している国際共同研究プロジェクト第1弾（8件）に加え第2弾（5件）を開始した。さらに、共同研究チームの形成等を目的として開催したASEAN IVO Forum 2017（11月、ブルネイ）での議論を踏まえて第3弾の課題を選定し、募集と審査を経て6件を採択した。

#### 3. 米国との国際共同研究の推進

米国科学財団（National Science Foundation：NSF）との間で実施予定の国際共同研究のネットワーク領域を対象とする第3弾（JUNO2）及び計算論的神経科学領域を対象とする第4弾（CRCNS）の研究課題を確定し、公募と採択審査を行った。

#### 4. 欧州との国際共同研究の推進

欧州委員会及び総務省と協力し、第2弾国際共同研究のFinal Review、第3弾国際共同研究の1st Reviewを実施することに加え、平成30年度開始予定の第4弾の国際共同研究の課題を確定し、公募と採択審査を実施した。

#### 5. 国際会議等への参加、国際展示会への出展

GCTC（Global City Teams Challenge）Expo 2017（8月、米国）で研究成果を発表するなど国際的な会議やフォーラム等に積極的に参加したほか、タイ国立電子コンピューター技術研究センターと共催のワークショップ（9月、タイ）の開催、ASEAN IVO Forum 2017（11月、ブルネイ）、CSTB. TELECOM & MEDIA'2018（1月、ロシア）への出展など、NICT自らによる国際セミナーの開催や国際展示会への出展等を行った。

#### 6. 国際的な人材交流

16機関から19名のインターンシップ研修員をNICTの各研究所等に受け入れた。また、日本語研修の開催や各種資料の英語化など、海外からの研究者支援を行った。

#### 7. 安全保障輸出管理関連業務

安全保障輸出管理審査会を開催し、MOU等で提供予定の技術及び締結相手先機関について審査を行い、締結の可否等を確認した。

#### 8. 海外連携センターの活動

海外連携センターにおいては、現地情報の随時収集のほか、NICT内の要望に基づき、最新の研究開発情報をグローバルな視点から収集・分析し、NICTの内部関係

者に対しフィードバックを行った。また、平成29年度は、脳情報関連技術、インタラクティブ・アダプティブ機械翻訳、宇宙天気予報の研究開発動向等の調査を計画的に実施し、研究開発活動を側面から支援した。

さらに、海外連携センターが中心となり、Black Hat USA 2017（7月、米国）、タイ科学技術博覧会（8月、タイ）やDigital Thailand Big Bang（9月、タイ）への出展など研究開発成果の国際展開につながる取り組みを自ら実施するとともに、NICT内の研究所等からの要望に基づく調査を実施しNICT内の連携を強化した。加えて、時事通信社ロンドン支社主催の多言語音声翻訳に関するトップセミナー（3月、英国）において展示を行うなど、NICTの研究開発についての情報発信、NICTと海外の機関との研究交流や連携の促進に取り組んだ。